



平成29年6月29日

中部地方整備局

民間活動に合わせた自治体の基盤整備検討を 機動的に支援します！

～平成29年度 第2回 官民連携基盤整備推進調査費の配分について～

平成29年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（官民連携基盤整備推進調査費）第2回募集分について、中部地方整備局管内から下記の支援箇所が決定されましたのでお知らせします。

（詳細は別添①参照）

中部地方整備局管内の支援箇所

調査計画名	実施主体
リニア景観を活用した公園・道の駅整備による地域活性化のための検討調査	中津川市
清水港新興津地区における地域活性化のための基盤整備検討調査	静岡市
熱海港の賑わい創出による伊豆箱根地域観光拠点（海の玄関口）形成のための基盤整備検討調査	熱海市

配布資料

別添①：平成29年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第2回実施事業一覧（中部地方整備局管内分）

参考資料：国土交通省（本省）プレスリリース資料1式

配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、中津川記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ、熱海記者会・四社会等

問合せ先

中部地方整備局 企画部 広域計画課 課長 もりやま 森山 こうじ 幸司
課長補佐 よしだ 吉田 みつひろ 光宏

TEL：052-953-8129 FAX：052-953-8294

平成29年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第2回実施事業一覧（中部地方整備局管内分）

別添①

調査計画名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
				事業費	国費
1 リニア景観を活用した公園・道の駅整備による地域活性化のための検討調査	中津川市	岐阜県中津川市	リニア中央新幹線の岐阜県駅が設置される中津川市には、民間事業者による中部総合車両基地の建設が予定されており、車両基地周辺は、車両の走行等を鑑賞できる全国でも数少ないスポットであり、多くの人を呼び込むことが出来る魅力的な観光資源としての可能性があることから、「リニアの見える丘公園」（仮称）の整備について検討する。	8,600	4,300
2 清水港新興津地区における地域活性化のための基盤整備検討調査	静岡市	静岡県静岡市	清水港新興津地区において、世界文化遺産である三保松原などの地域資源を活用した観光振興や地域活性化を図るため、民間事業者による新規観光ツアーの企画や賑わい施設の整備と連携して、駐車場・地域交流施設等の整備・管理運営に係るPPP/PFIの導入可能性検討等を行う。	23,000	11,500
3 熱海港の賑わい創出による伊豆箱根地域観光拠点（海の玄関口）形成のための基盤整備検討調査	熱海市	静岡県熱海市	熱海港において、伊豆箱根地域の海の玄関口として、官民連携で観光交流の増加による地域活性化に取り組むため、民間事業者による宿泊施設建設や水産施設の再編整備とあわせて、熱海港エリアの賑わい創出にかかる基礎調査やクルーズ船受け入れのための入出港シミュレーション・岸壁整備検討、臨港道路の配置・整備検討等を行う。	30,000	15,000
計		3件		61,600	30,800

リニア景観を活用した公園・道の駅整備による地域活性化のための検討調査

地域の特徴等

- ▶ 中津川市には、リニア中央新幹線の岐阜県駅が設置され、岐阜県の東の玄関口として重要な交通結節機能を担うとともに、中部圏広域地方計画において、「リニア岐阜県駅（中津川地域等）を活用したまちづくり」が広域連携プロジェクトに位置付けられている。
- ▶ 中津川市は、「リニアのまちづくりビジョン（H25.8）」において、リニアのまちづくりを支える基盤整備と土地利用の方針を示し、地域の活性化のための秩序ある開発や企業立地等を促進するとともに、リニア建設残土の有効活用による用地確保の考え方を示しているところ。
- ▶ また、本市に設置されるリニアの中部総合車両基地は、リニア車両の走行等を鑑賞できる全国でも数少ないスポットであり、多くの人を呼び込むことができる魅力的な観光資源としての可能性があることから、「リニアの見える丘公園」（仮称）を整備し、観光・産業振興、定住・移住、防災拠点等の機能を有する活性化拠点として、リニア景観を活用した公園・道の駅整備に向けた官民協議を進めている。

(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- H26年10月、中津川市にリニア中央新幹線岐阜県駅、中部総合車両基地の設置が決定。車両基地周辺は、リニアの建設現場から発生する約210万m²の残土処分地として最大規模の候補地。
- H27年3月、「リニアの見える丘公園」整備促進協議会を設立。
- H28年3月、中部圏広域地方計画「リニア効果最大化対流促進プロジェクト」に岐阜県駅（中津川地域等）を活用したまちづくりが位置付け。
- H28年9月、車両基地周辺エリアを道の駅整備候補地として選定。

(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- JR東海による用地造成・土地嵩上げ
- JR東海による中部車両基地の建設
- PPP/PFI事業者による公園・道の駅の整備、管理・運営
- 観光事業者等による誘客施設の整備

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- リニアの地上部走行や車両基地が見える希少な立地条件を活用し、リニアの波及効果を産業振興、観光振興、定住・移住推進に活かす取組を官民連携で進める必要。
- 道の駅整備に官民の幅広い主体が参画し、民間のノウハウや資金等の積極的な活用を図ることで、効果的・効率的な施設整備を目指す必要。

(4) 調査内容

- 土地利用計画策定（区画内道路、排水路整備計画検討等）
- 公園・道の駅整備基本設計（施設配置計画検討、PPP/PFI導入可能性検討等）

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- リニア景観を活用した道の駅やさまざまな誘客施設等の整備により、民間投資誘発効果が見込まれる。
- 公園・道の駅の整備・管理運営にPPP/PFI事業の導入検討することで、効率的な整備と持続的な運営が期待される。

なかつがわし
【対象地域：岐阜県中津川市】

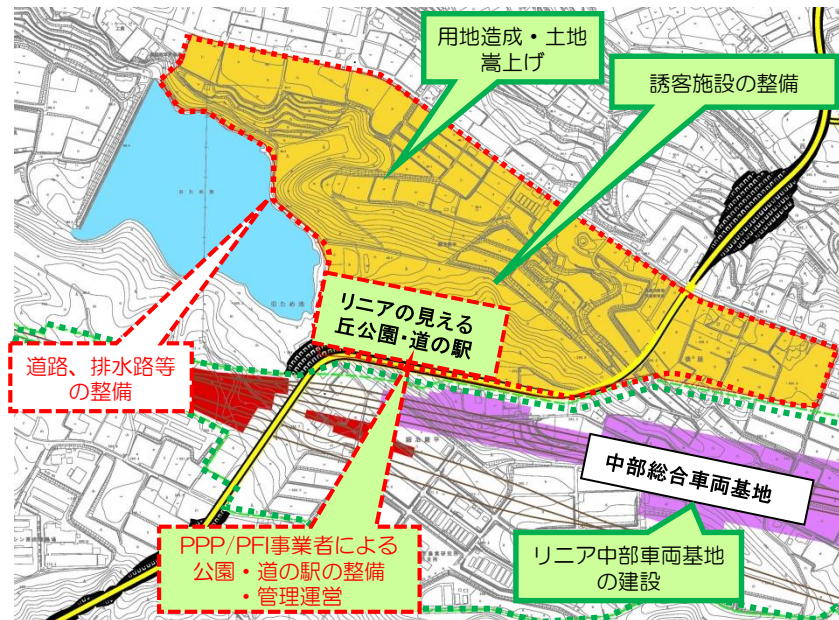
位置図



凡例

社会資本整備

民間による取組



清水港新興津地区における地域活性化のための基盤整備検討調査

地域の特徴等

- 清水港は、日本一深い駿河湾（水深2,550m）に面し、静岡県のほぼ真ん中に位置しており、新興津地区に隣接する興津地区は、国道1号線と南北軸の国道52号線が交差し、東海道本線JR興津駅を有する交通の要所である。
- また、清水港は、世界文化遺産にも登録された三保松原や高速道路ICにも近く、ビジネスをはじめ、観光・レジャーに県内外からの来訪者がある。
- 平成28年3月に策定された中部圏広域地方計画の「新たな観光交流おもてなしプロジェクト」において清水港は『地域の多様な自然、歴史、文化、温泉、食等の豊かな地域資源を活かした多彩な観光コンテンツ開発を促進し広域観光交流の促進』が位置づけられている。
- 市は平成29年3月に「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」を策定し、沿岸部における駿河湾、水産物などの地域資源を軸に、内陸部では旧東海道の魅力を活かす連携を進めることとしている。

しずおかけんしずおかし

【対象地域：静岡県静岡市】

位置図



(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・平成28年2月に新東名の浜松以西が延伸、中部横断自動車道が平成31年度に開通予定。これにより、清水ICに近い新興津地区の利用圏が拡大。
- ・平成28年3月、中部圏広域地方計画「新たな観光交流おもてなしプロジェクト」に位置づけ。
- ・平成29年3月、「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」を策定

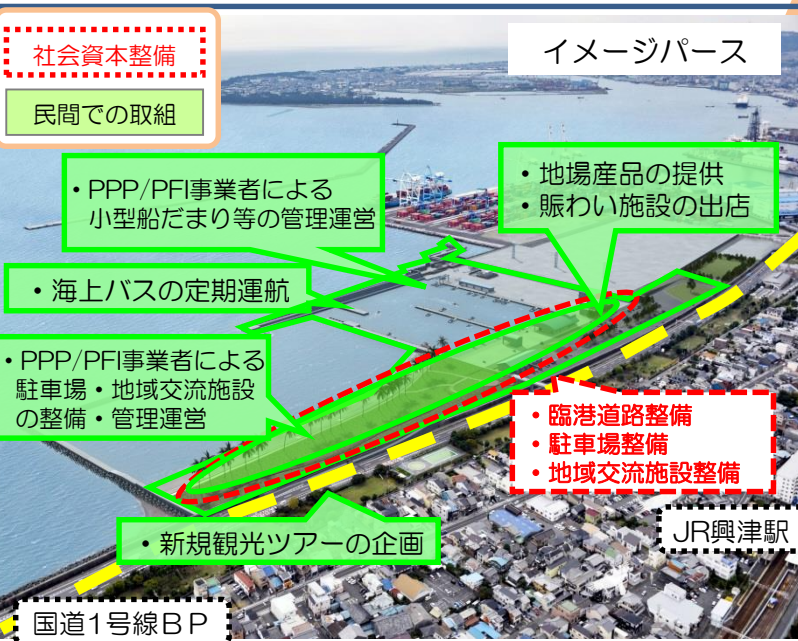
(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ PPP/PFI事業者が地域交流施設、駐車場の整備・管理運営を実施
- ・ PPP/PFI事業者が小型船だまり、人工海浜、緑地の管理運営
- ・ 4市1町の観光資源を活用するため、駿河湾水産振興協議会による新規観光ツアーを企画。
- ・ 農林水産業の生産者は、地場産品を提供。地域交流施設では地場産品の直販を連携。
- ・ 小型船だまりを利用して新たな海上バスを運航するための施設整備。
- ・ 民間事業者が賑わい施設の整備。

社会資本整備

民間での取組

イメージパース



密接な関連性

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・ 新興津地区は、背後地との間に国道1号線BPがある。アクセスには貨物車両と一般車両の輻輳があり課題。
- ・ 新興津地区では、地域資源を活用した観光振興や地域活性化を図るため、民間の積極的な参画による魅力的な海岸エリア整備が必要。

(4) 【調査内容】

- ① 新興津地区の現況調査（需要予測）
- ② 施設計画の作成（配置・規模等）
- ③ 駐車場・地域交流施設等の整備・管理運営に係るPPP/PFIの導入可能性検討

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

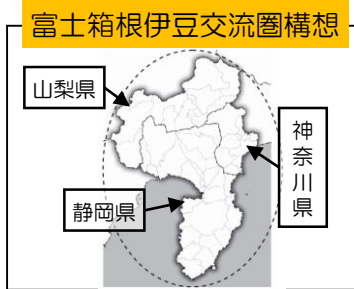
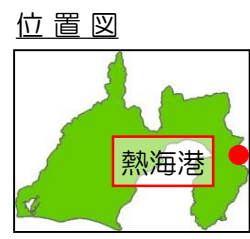
基盤整備を行うことにより、新興津地区への民間事業の参入が見込まれるだけでなく、興津の旧市街地との連携により、商店街等の活性化が見込まれる。

熱海港の賑わい創出による伊豆箱根地域観光拠点（海の玄関口）形成のための基盤整備検討調査

地域の特徴等

- 熱海港の立地する熱海市は、伊豆箱根地域の中心都市として「日本ナンバー1の温泉観光地」づくりを目指している。
- 当該地域は、世界遺産の富士山を望み、韮山反射炉や世界認定を目指す伊豆半島・箱根ジオパークをはじめ質の高い景観・歴史・文化を活かした観光地域づくりの取組により、「富士箱根伊豆交流圏構想」に基づく県域を超えた対流促進を図る広域連携プロジェクトに位置付けられている。
- 熱海市では、熱海港を伊豆箱根地域の海の玄関口として、民間投資活動と一体で港湾エリアの賑わい創出を図るため、官民連携で観光交流の増加やクルーズ船受け入れの活動に取り組んでいる。

【対象地域：静岡県熱海市】



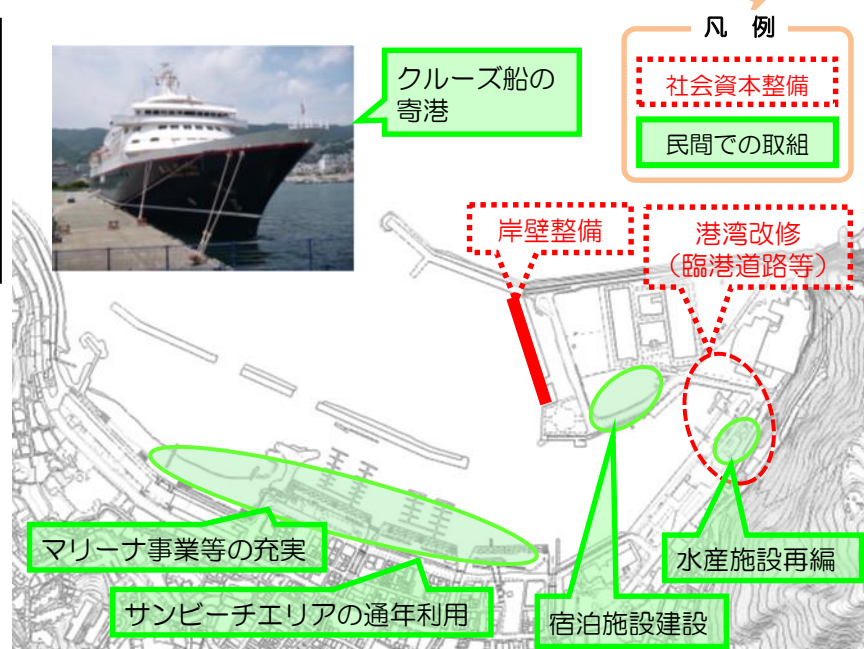
(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・ 国内外からの旅行者が増加し、ラグビーW杯、東京オリパラの開催に向けてさらに増加を予測
- ・ 平成28年3月に中部圏広域連携プロジェクトに「富士箱根伊豆交流圏構想」に基づく観光振興が位置付け
- ・ 平成29年4月より熱海港客船誘致委員会が活動を開始
- ・ 熱海港内の漁協による水産施設再編検討の動きや民間事業者によるホテル建設計画が始動

(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ 大熱海漁業協同組合による水産施設の再編整備検討 (H29～)
- ・ A不動産(株)による宿泊施設建設 (H32～)
- ・ 熱海港客船誘致委員会によるクルーズ船誘致活動 (H29～)
- ・ クルーズ船の寄港打診 (H33～)
- ・ (株)JT中部・熱海市協働によるプロモーション強化 (H29～)
- ・ (株)スパ・マリーナ熱海によるマリーナ事業・カフェ運営の充実 (H30)

密接な
関連性



(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・ クルーズ船の寄港打診に対応した港湾施設の受入環境整備（岸壁整備等）が必要
- ・ クルーズ旅客だけでなく、多くの観光交流客により伊豆箱根地域の玄関口として熱海港エリア全体の魅力アップが必要

(4) 調査内容

- ① 熱海港湾エリア賑わい創出検討基礎調査（需要予測、導線計画検討等）
- ② クルーズ船受け入れのための入出港インフラ・岸壁整備検討、臨港道路等の配置・整備検討

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 既存ストックの有効活用による港湾の賑わいエリアの創出、民間投資誘発効果
- ・ 熱海港及び富士箱根伊豆地域全体の観光交流客の増加、観光消費額の増加

平成 29 年 6 月 29 日

国土政策局広域地方政策課

民間活動に合わせた自治体の基盤整備検討を 機動的に支援します！

～平成 29 年度 第 2 回 官民連携基盤整備推進調査費の配分について～

国土交通省は、平成 29 年度「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（第 2 回募集分）」について、別添 1 のとおり、地方公共団体が実施する 5 件の調査計画の支援を決定しましたので、お知らせします。

本事業は、官民連携による広域的な地域戦略に資する社会基盤整備を推進するため、民間の設備投資等と一体的に実施する基盤整備の事業化検討を支援するための制度です（配分先：地方公共団体、補助率：1/2）。

【添付資料】

- ・別添 1 平成 29 年度第 2 回実施事業一覧
- ・別添 2 事業制度の概要・平成 29 年度第 2 回実施事例

【その他】

- ・平成 29 年度第 2 回実施事業の個別事業概要は、以下に掲載しております。
(<http://www.mlit.go.jp/common/001190059.pdf>)
- ・その他、募集情報や事業制度の概要、過去の実施例等は以下をご覧ください。
(<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>)

【問い合わせ先】

国土政策局広域地方政策課調整室
専門調査官 田村（内線 29-916）
主査 鈴木（内線 29-924）
代表 03-5253-8111
直通 03-5253-8360
FAX 03-5253-1572

平成29年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第2回実施事業一覧

別添1

調査計画名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
				事業費	国費
1 リニア景観を活用した公園・道の駅整備による地域活性化のための検討調査	中津川市	岐阜県中津川市	リニア中央新幹線の岐阜県駅が設置される中津川市には、JR東海による中部総合車両基地の建設が予定されており、車両基地周辺は、車両の走行等を鑑賞できる全国でも数少ないスポットであり、多くの人を呼び込むことが出来る魅力的な観光資源としての可能性があることから、「リニアの見える丘公園」（仮称）の整備について検討する。	8,600	4,300
2 清水港新興津地区における地域活性化のための基盤整備検討調査	静岡市	静岡県静岡市	清水港新興津地区において、世界文化遺産である三保松原などの地域資源を活用した観光振興や地域活性化を図るため、民間事業者による新規観光ツアーの企画や賑わい施設の整備と連携して、駐車場・地域交流施設等の整備・管理運営に係るPPP/PFIの導入可能性検討等を行う。	23,000	11,500
3 熱海港の賑わい創出による伊豆箱根地域観光拠点（海の玄関口）形成のための基盤整備検討調査	熱海市	静岡県熱海市	熱海港において、伊豆箱根地域の海の玄関口として、官民連携で観光交流の増加による地域活性化に取り組むため、民間事業者による宿泊施設建設や水産施設の再編整備とあわせて、クルーズ船受け入れのための入出港シミュレーション・岸壁整備検討、臨港道路の配置・整備検討等を行う。	30,000	15,000
4 新宮港におけるクルーズ受入強化等基盤整備調査	和歌山県	和歌山県新宮市	新宮港において、世界遺産の「紀伊山地の霊場と参詣道」等の様々な観光地と連携し、大型クルーズ船入港に向けた受入環境整備を推進するため、民間事業者による歓迎イベント施設の設置やおもてなし活動とあわせて、クルーズ船が安全に入港するための航行安全対策等の検討を行う。	13,000	6,500
5 日高港におけるクルーズ受入強化等基盤整備調査	和歌山県	和歌山県御坊市	日高港において、白砂の美しいビーチが続く「白良浜」や日本三大古湯の1つである「白浜温泉」等へのアクセスが良い観光拠点として、大型クルーズ船入港に向けた受入環境整備を推進するため、民間事業者による歓迎イベント施設の設置やおもてなし活動と連携して、クルーズ船が安全に入港するための航行安全対策等の検討を行う。	32,000	16,000
計		5件		106,600	53,300

事業制度の概要・平成29年度第2回実施事例

事業制度の概要

- 各地域の個性や強みを活かし、特色ある地域の成長を図るため、官民が連携して、民間の設備投資等と一体的に実施する社会基盤整備（道路、海岸、河川、港湾、都市公園、空港等の公共土木施設※）の事業化を検討するために必要な調査費を支援します。

※ 公共土木施設には、市庁舎、公営住宅、学校、病院等の施設は含まれません。（本調査費の対象外です）

【支援内容】

- ① 施設整備の内容に関する調査
 （例）基礎データ収集、需要予測、概略設計、基盤整備効果検討等
- ② 施設の整備・運営手法に関する調査
 （例）PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFM算定等

【配分先】 地方公共団体（都道府県・市町村等）

【補助率】 1/2

【配分時期】 年3回配分（4月26日、6月下旬、9月下旬）

【予算額】 平成29年度：325百万円

【配分額】 平成29年度第1回：153百万円（19件）
 第2回：53百万円（5件）

第2回実施事例

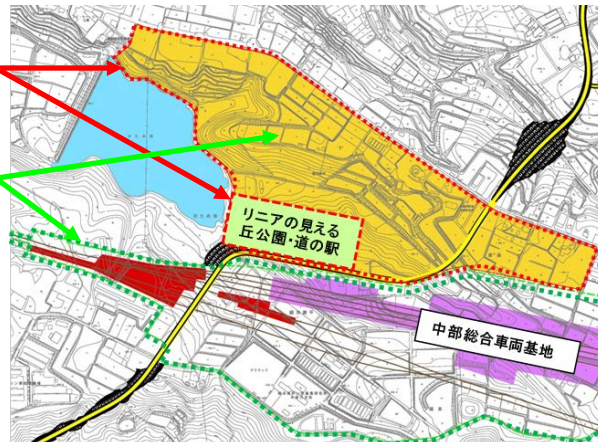
(1) リニア景観を活用した公園・道の駅整備による地域活性化のための検討調査 （実施主体：中津川市）

- ・リニア中央新幹線の岐阜県駅が設置される中津川市には、JR東海による中部総合車両基地の建設が予定されており、車両基地周辺は、車両の走行等を鑑賞できる全国でも数少ないスポットとして魅力的な観光資源としての可能性があることから、「リニアの見える丘公園」（仮称）の整備について検討する。

- 【社会資本整備】**
- ・公園、道の駅整備
 - ・区画内道路、排水路等整備

- 【民間の取組】**
- ・JR東海による用地造成・土地嵩上げ
 - ・JR東海による中部総合車両基地建設
 - ・PPP/PFI事業者による公園・道の駅の整備・管理運営
 - ・観光事業者等による誘客施設の整備

- 【調査内容】**
- ・土地利用計画策定（区画内道路、排水路整備計画検討等）
 - ・公園・道の駅整備基本設計（施設配置計画検討、PPP/PFI導入可能性検討等）



(2) 熱海港の賑わい創出による伊豆箱根地域観光拠点（海の玄関口）形成のための基盤整備検討調査 （実施主体：熱海市）

- ・熱海港において、伊豆箱根地域の海の玄関口として、官民連携で観光交流の増加による地域活性化に取り組むため、民間事業者による宿泊施設建設や水産施設の再編整備とあわせて、クルーズ船受け入れのための入出港ミルニツヨシ・岸壁整備検討、臨港道路の配置・整備検討等を行う。

- 【社会資本整備】**
- ・岸壁整備
 - ・港湾改修（臨港道路等）

- 【民間の取組】**
- ・大熱海漁業協同組合による水産施設再編整備
 - ・A不動産(株)による宿泊施設建設
 - ・クルーズ船の寄港
 - ・(株)JTBC中部・熱海市協働によるプロモーション強化
 - ・(株)スパ・マリナ熱海マリナ事業・カフェ運営の充実

- 【調査内容】**
- ・需要予測・導線計画検討等、入出港ミルニツヨシ・岸壁整備検討、臨港道路等の配置・整備検討

